

グローバル・ワーカーへようこそ



ユルキ・ライナ書記長

「10月7日のインダストリアルストップ不安定雇用キャンペーンでは、世界中の加盟組織が過去最大の規模で集会や人間の鎖、記者会見、公開演説に参加した。」

組合の組織化・キャンペーン能力の強化は、インダストリアル・グローバルユニオンの議題の中核を成す。最近の動員はグローバルな連帯の力を示している。

『グローバル・ワーカー』本号では、組織化、組合権、生活賃金をめぐる重要な組合闘争をいくつか取り上げる。成功のためには戦略的アプローチが重要であり、協調体制の構築、サプライチェーンへの圧力、企業調査、メディア戦略などが必須要素だ。しかし、状況を一変させるのはグローバルな労働者の連帯である。

これらすべての要素をパートナーとのキャンペーンに組み込んだ結果、フィリピンでオランダ系電子サプライヤーの NXP に対して勝利を収めることができた。iPhone 6 の部品を生産する同社は、祝祭日の休暇取得を理由に選出組合役員 24 人を解雇した。しかし、フィリピンでの強力な現地行動、新型 iPhone をめぐる労働権侵害に対するソーシャルメディアでの非難、アップルへの 15 万通の請願書、アメリカの店舗でのデモによって、インダストリアル加盟組織フィリピン金属労働者同盟(MWAP)は、この組合つぶし攻撃を阻止して大勝利を収めた。

全米自動車労組(UAW)は組合に敵対的な米国南部諸州で、新しい戦術を利用して外資系自動車工場労働者を組織化している。ドイツの加盟組織 IG メタルは、テネシー州のフォルクスワーゲン事業とアラバマ州のメルセデス事業で中立性を確保しようと尽力している。日本の組合はミシシッピ州へのインダストリアル連帯ミッションに参加し、日産労働者による組織化活動との継続的な連帯を誓約するとともに、本社経営陣に中立性の確保を要求した。

10月7日のインダストリアルストップ不安定雇用キャンペーンでは、世界中の加盟組織が過去最大の規模で集会や人間の鎖、記者会見、公開演説に参加した。

インダストリアルは初めて、サンダークラブと呼ばれるソーシャルメディア・ツールを利用し、ストップ不安定雇用のメッセージを世界中に広げられるようにした。1,592 人の支持者がツイッターやフェイスブック、タンブラーで同時に同じメッセージを送り、実に 119 万 4,792 人に接触した。

しかし、このキャンペーンは、法律や労働協約を通して不安定雇用を制限するために、1 年を通じて毎日続いている。加盟組織が交渉に勝利するための新しいガイドブック『保障の取り決め』をチェックされたい。

「世界の労働者は賃上げを必要としている」と国際労働組合総連合(ITUC)のシャラン・バロウ書記長は言う。インダストリアルは ITUC および UNI グローバルユニオンとともに、いくつかの国々に照準を絞って、最低賃金を生活賃金の水準に引き上げようとしている。

グローバル・ユニオン 3 団体は今年、NGO のパートナーとともに、生活賃金を求めるカンボジアの衣料労働者の闘いを支持して 2 回の世界的な行動デーを組織した。主要多国籍衣料ブランドは前例のない行動を起こし、9 月に政府・使用者に書簡を送付、組合の要求を支持するとともに、要求に従って購買価格を引き上げると約束した。

シャラン・バロウ書記長は、2018 年までに 2,000 万人の新規組合員を獲得するという目標を設定している。インダストリアル・ファミリーとしては、社会的・経済的公正を目指してグローバルな組合の力を組織構築するために役目を果たしていく。

書記長 ユルキ・ライナ